

商品・サービス紹介



【A】産業人クラブ

- 1. 組織**
中堅・中小産業人の異業種の交流組織
- 2. 概要**
日本産業人クラブ連合会を母体に、全国に29のクラブを持ち、1,750社以上の会員がいます。
- 3. 活動内容**
 - 経営研究会や部会活動
 - 講演会や工場見学の開催
 - 会報誌発行ほか、産学官他の交流等



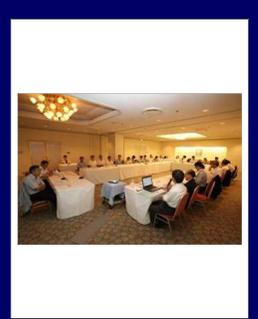
【B】モノづくり日本会議

- 1. 事業概要**
多様な課題を乗り越え、「超」モノづくりの推進」をテーマに事業を展開。
- 2. 会員**
大手のモノづくり企業から地域中堅・中小企業まで、約1,900社の企業ネットワーク
- 3. 活動内容**
 - グローバル競争力強化関連事業
 - 新産業・ビジネス創出/ビジネスモデル構想力向上関連事業等



**【C】キャンパスベンチャーグランプリ
／海外ネットワーク**

- 1. キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)**
大学生や大学院生を対象にしたビジネスプランコンテストを全国規模で開催。受賞者OBから50人近くの起業家を輩出。これまでの受賞者を中心に、若手起業家のネットワークが形成され始めています。
- 2. 海外ネットワーク**
具体的事業・交流(展示会や視察会等)を通して、海外(特に中国や韓国、インドネシア等)との連携が広がっています。



【D】グリーンフォーラム

- 1. 目的**
環境情報の収集・調査・研究、その結果の発信、環境活動広報のサポート活動などを通じて、企業価値を高めています。
- 2. 構成**
茅陽一氏(東京大学名誉教授)を座長に、20社以上の企業会員にて活動。
- 3. 活動**
 - 事例研究会、シンポジウム
 - 環境先進企業・施設の視察会 など

取り組み事例



多様なニーズに応える視察会を実施

全国約30におよぶ各産業人クラブで定期的に視察会を行っています。会員企業同士がお互いを知るために、相互に企業訪問するほか、当社の持つネットワークを利用して最先端の研究開発、技術開発、製品製造を行っている企業を見学します。民間の企業では見ることができない、立ち入ることができない工場施設や研究所の現場を訪れて、最新の活動に触れることができます。さらには視察先企業の責任者による説明会や情報交換会を行い、ビジネスチャンス拡大の場を提供します。訪れる企業は大企業から中小企業まで幅広く、そのエリアは全国に留まらず世界全域に及びます。特に近年では経済成長著しいアジア地域への視察会に力を入れています。

担当：産業人クラブ事務局



経営向上につながる講演会を多数実施

その時々、の勢やトレンドに合わせたキーマンによる講演会を全国で実施。政治・経済から文化まで幅広く会員企業の経営向上に資する方をお招きしています。また技術系企業の経営者が数多く参加することも特徴であり、常時、優良企業の経営者による経営戦略論や自身の経営哲学、事業継承問題など、直接自社の経営に取り入れることができる内容の講演会も行っています。さらに会員企業同士の意識向上を目指して、会員の中で先駆的な経営を行っている企業経営者にも具体的な取組事例を講演いただいています。全国組織の利点を活かした年に一度の、各地の会員が集まる大型シンポジウムも好評です。

担当：産業人クラブ事務局



将来へ盤石なモノづくり産業基盤を築き上げることを目標にした会員制(企業単位)の任意団体

わが国のモノづくり産業の競争力強化につながる多彩な事業を実施。特徴的な活動として、以下の展開が広がっています。

- 東京多摩地区会員企業数社が同地区ベースで、大学研究室(東京大学)と共同で新たなロボットビジネスを構築するための社会実験を開始(2012年～)。
- ネイチャーテクノロジー研究会では、会員企業数社が独自に幹事会を構築。「自然から模倣するモノづくり」をキーワードに、具体的なビジネス創出(商品開発)に移行する段階まで事業域が広がってきました。
- 農商工連携研究会では「植物工場」、人材育成関連ではダイバシテマナジメント、ロボット分野では自動化に関する検討を実施しています。

担当：モノづくり日本会議実行委員会



国内最大級のビジネスプランコンテスト

起業を目指す大学生などを対象にしたビジネス提案コンテストです。2011年度の応募者数は前年度比約2割増の約1,100件。各地区の優秀者が集う全国大会を毎年3月に開催、ビジネス大賞には経済産業大臣賞等が授与されます。歴代受賞者で起業した人たちがすでに50人を超え各方面で活躍中。顕彰にとどまらず、起業家支援にも積極的に取り組んでいます。4月に「起業のチカラ」と題した特集記事を掲載、新聞社しかできない起業家支援を展開中。今年度にはOB・OG起業家を組織化した「キャンパスベンチャークラブ(CVC)=仮称」を立ち上げ、入り口のCVGと出口のCVCに太い導線を設けます。

担当：編集局 日刊工業産業研究所